

3つのポリシー(英語国際学部アジア共創学科)

建学の理念	「公正な世界観にもとづき時代と社会の要請に応じていく実学」の教授研究を通して、「国際社会に貢献できる豊かな教養を備えた人材」を育成します。
大学の教育理念・方針	<ul style="list-style-type: none"> ・言語を「コミュニケーション・ツール」として位置づけ、より実践的な言語教育を行います。 ・他国の言語・文化を修得・理解するレベルにとどまらず、日本語・日本文化の礎を踏まえ、自らの考えを自由に発信できるより高度で創造的なレベルでの言語運用能力の修得をめざします。 ・言語教育にとどまらず、平和な国際社会の構築に貢献しうる人材として必要な「国際学」「外国学」に関する国際教育に力を注ぎ、豊かな人間性に裏付けられたコミュニケーション力を培うための教養教育を重視します。
学部(学科)の人材養成目的	<p>(英語国際学部) 英語ならびにアジア言語の実践的な運用能力を備え、グローバル社会のありよう、世界の文化・社会に関する深い知識と教養を学修し、世界が抱える多様な課題を理解するとともにその解決に積極的に寄与し、世界の平和と持続的発展に広く貢献できるグローバル人材の育成を教育研究上の目的とし、以下に掲げる人材の養成をめざすものとする。</p> <ul style="list-style-type: none"> (1) 英語ならびにアジア言語の実践的な運用能力のもと、文化の枠を超えて柔軟に対応し、多様な人々と円滑なコミュニケーションができる人材 (2) グローバル社会のありようについて、政治・経済・文化・社会などの観点から広く学修するとともに、世界が抱える多様な課題を探究し、総合的な思考力や分析力を発揮しながらその解決に取り組み、世界の平和と持続的発展に貢献できる人材 <p>(アジア共創学科) 英語ならびにアジアの言語、グローバル・アジアのありよう、アジアの文化・社会に関する深い知識と教養の学修により、アジアの多様な人々と協働しつつ共創によって新たな価値を創出し、アジアを起点として世界の平和と持続的発展に広く貢献できるグローバル人材の育成を教育研究上の目的とし、以下に掲げる人材の養成をめざすものとする。</p> <ul style="list-style-type: none"> (1) 英語をはじめアジア言語の実践的な運用能力、および文化の枠を超えて、柔軟に対応できる国際感覚を備えた人材 (2) 現在のグローバル・アジアのありようを理解するとともに、アジアの多様な文化・社会・歴史・価値観等に関する深い知識・理解と教養を有し、それらをもとにアジアの相互理解、協働と連帯、共生を実現できる共創力を備えた人材 (3) アジアの多様性を尊重しつつ共創力をもとに、新しい価値を創出しながらグローバル・アジアの社会課題の解決に寄与し、アジアを起点として世界の平和と持続的発展に貢献できる人材
学位授与の方針(DP)	<p>本学科では、英語ならびにアジアの言語、グローバル・アジアのありよう、アジアの文化・社会に関する深い知識と教養の学修により、アジアの多様な人々と協働しつつ共創によって新たな価値を創出し、アジアを起点として世界の平和と持続的発展に広く貢献できるグローバル人材の育成を目的として、学生が卒業時に身につけるべき能力や知識を以下のように定めています。卒業要件を満たせば、これを身につけたものと認め、「学士(アジア共創)」の学位を授与します。</p> <ul style="list-style-type: none"> (1) 英語ならびにアジア言語の実践的な運用能力にもとづき、円滑なコミュニケーションを行うことができる。《知識・理解、コミュニケーション力》 (2) 現代のグローバル社会のありようを理解するとともに、アジアの多様な文化・社会に関する深い知識と教養をもとに、アジアの相互理解、協働と連帯、共生することができる。《知識・理解、態度・志向性》 (3) グローバル・アジアの社会課題を理解するとともに深く考察し、総合的な思考力、分析力・構想力を発揮して課題解決に向けて行動することができる。《知識・理解、思考力、創造力、課題解決力》 (4) 多様性を尊重しつつ人種・文化・価値観等を異にする人々と協働し、共創によって新たな価値を生み出すために主体的に行動することができる。《態度・志向性、共創力》
教育課程の編成・実施の方針(CP)	<p>[教育課程の編成にかかる基本方針] 本学科では、ディプロマ・ポリシーに掲げる知識・能力などを修得できるよう、教育課程を専門教育科目(主要授業科目)と全学共通教育科目に区分し、基礎から発展、完成へと卒業まで順次的・体系的に編成し、学修・教育、評価を行います。</p> <p>1. 教育内容について</p> <ul style="list-style-type: none"> (1) 専門教育科目では、6つのカテゴリー(「言語コミュニケーション科目群」「地域・文化科目群」「グローバル社会科目群」「サステナビリティ科目群」「アジア共創科目群」「日本語教員養成科目群」)において、英語およびアジア言語の運用能力の伸長、ならびにアジアの文化・社会を広く学び、アジアの協調と共生に貢献できる力、グローバル社会の現状を理解し、持続的発展を探究する力などの獲得をめざします。 (2) 全学共通教育科目では、グローバル社会で活躍できる人材を育成することを目的として数多くの外国語科目を配置するほか、学問分野を超えて横断的・学際的に教養を深め、広い視野で物事を判断できる力の獲得をめざします。 <p>2. 教育方法について</p> <ul style="list-style-type: none"> (1) 専門教育科目(「言語コミュニケーション科目群」)では、学修コーディネーション・コミッティの下、Content-Based Instruction(内容重視の教授法)を用いた言語学修を行います。 (2) 専門教育科目(「言語コミュニケーション科目群」)では、外部試験による客観的な指標により少人数クラス編成を行い、各自のレベルに応じた言語学修を行います。 (3) 主体的に学ぶ力を高めるために、ディスカッション、プレゼンテーション、グループワークなどの教育方法を活用したアクティブラーニング型授業を展開します。 (4) 多様性にもとづいた共創力を修得するために、アジアからの国際学生と国内学生の協働によるフィールド型、プロジェクト型の学びを重視し、課題解決スタイルを実践的に学べる授業を展開します。 (5) 幅広い知識と柔軟な国際感覚を実践的に修得するため、本学独自の多彩なプログラムによる海外協定先大学への留学を促します。 <p>3. 学修成果の評価について</p> <ul style="list-style-type: none"> (1) 学修成果の評価は、単位修得の確認などにより行います。 (2) 単位修得科目、留学、就業体験、異文化理解などのためのボランティアの体験、外部試験の成績、およびクラスアドバイザーによる面談記録などの学修ポートフォリオにもとづき、4年間の学修成果をディプロマ・ポリシーに照らして総合的に評価します。 (3) 英語力については、TOEFLなどの英語外部試験の客観的な指標を設け、学修成果を検証します。

3つのポリシー(英語国際学部アジア共創学科)

入学受入れの方針(AP)

本学科の教育研究上の目的として定める人材を育成するため、ディプロマ・ポリシーおよびカリキュラム・ポリシーを踏まえ、「求める人材像」を次のとおり定め、英語力を中心とする基礎学力などをもとに選抜を行い、入学受入れを行います。

1. 求める人材像について

高等学校までの学習・活動を通して、論理的に自分の意見を発信でき、とりわけ「英語」（アジアからの国際学生においては「日本語」）の学習において、「聞く・話す・読む・書く」の4技能の基礎的な内容を身につけた上で、

- (1) 基礎的な知識・技能や目的意識・意欲のある人
- (2) 実践的な言語運用能力の向上を図るとともに、アジア・日本の言語・文化・社会に関する知識・技能・教養を養い、グローバル社会において柔軟な国際感覚を身につけようとする積極的な姿勢や情熱を持つ人
- (3) アジア・日本の文化・社会、グローバル社会のありようについて積極的に学び、理解して、アジアを起点として世界の持続的発展への貢献をめざす強い意志を持つ人

2. 評価方法について

上記のような学生を選抜するため、形態ごとに以下のような試験を行い、本学で学修するための基盤となる学力などについて評価します。

(1) 一般選抜

ア. 一般入試

① 1科目型：

個別学力検査（外国語）により評価します。また、本学の教育プログラムや海外留学で求められる語学力と思考力・判断力を備えた入学受入れ者を選抜するため、英語の資格・検定試験を活用するなど、多面的・総合的に評価します。〔前期：S方式/後期〕

② 2科目型：

個別学力検査（外国語、国語、地理歴史）により評価します。また、本学の教育プログラムや海外留学で求められる語学力と思考力・判断力を備えた入学受入れ者を選抜するため、英語の資格・検定試験を活用するなど、多面的・総合的に評価します。〔前期：A方式/B方式〕

③ 3科目型：

個別学力検査（外国語）と大学入学共通テスト（選択2科目）により評価します。また、本学の教育プログラムや海外留学で求められる語学力と思考力・判断力を備えた入学受入れ者を選抜するため、英語の資格・検定試験を活用するなど、多面的・総合的に評価します。〔前期：共通テストプラス方式〕

イ. 大学入学共通テスト利用入試

① 2科目型：

大学入学共通テスト（英語、選択1科目）の得点により評価します。〔後期〕

② 3科目型：

大学入学共通テスト（英語、国語、選択1科目）の得点により評価します。〔前期〕

③ 5科目型：

大学入学共通テスト（英語、国語、選択3科目）の得点により評価します。〔前期〕

(2) 学校推薦型選抜

ア. 公募制推薦入試

基礎学力検査として英語を課し、調査書等、学校長推薦書を総合して評価します。また、本学の教育プログラムや海外留学で求められる語学力と思考力・判断力を備えた入学受入れ者を選抜するため、英語の資格・検定試験を活用するなど、多面的・総合的に評価します。〔前期/後期〕

イ. 指定校制推薦入試

書類選考、口頭試問(面接)を総合して評価します。

(3) 特別型選抜

ア. 特技入試

書類選考、小論文、口頭試問(面接)を総合して評価します。

イ. 社会人入試

書類選考、筆記試験(英語、小論文)、口頭試問(面接)を総合して評価します。

ウ. 帰国生徒入試

筆記試験(英語、小論文)、口頭試問(面接)を総合して評価します。